

令和元年度第2回淀川区区政会議

日 時：令和元年10月2日（水）

午後6時30分～午後8時37分

場 所：淀川区役所5階会議室

○久保政策企画課長

それでは、定刻となりましたので、ただいまより令和元年度第2回淀川区区政会議を開催させていただきます。

私は、本日の進行役を務めさせていただきます、淀川区役所政策企画課長の久保と申します。よろしくお願いいたします。

委員の皆様方には御多忙のところ御出席いただきまして、まことにありがとうございます。

それでは、開会に当たりまして、初めに区長の山本より御挨拶申し上げます。

○山本淀川区長

皆さん、こんばんは。ただいま御紹介いただきました区長の山本でございます。平素より大変お世話になっております。本日は皆様本当にお忙しい中、区政会議にお集まりいただきまして、ありがとうございます。そして今回初めて委員になられる方もいらっしゃるということで、区政会議の意義とかに関する勉強会を開催させていただきましたけれども、そちらのほうにもたくさん御参加いただきまして、ありがとうございました。さて、昨日は10月1日ということで、赤い羽根の共同募金だったわけですけれども、消費税上がったため集まらないかなと思っていたんですけれども、各地域昨日は10月にしたら観測史上初めてぐらい暑いというふうにニュースで言っていましたけど、そんな中でも各地域の皆様方、一生懸命募金活動に協力していただいているお姿を見まして、本当に地域の方々に支えられているんだなということを改めて

感じた次第でございます。本日は新たなメンバーによる区政会議、今回からスタートということでございますけれども、今回の資料の1ページ目に区政会議の意義ということで政策と立案段階からとなっているんですけれども、区役所のほうは立案段階からじゃなくて決まったことを事後報告しているだけやないかというような御批判も賜っておりますし、延々と区役所側がしゃべることばかり聞かされている感じがするというような御意見もいただきながら、少しずつ改善できるところ、いろいろ至らない点があるかと思うんですけれども、御意見を伺いながら淀川区が少しでもよくなるように皆さん方の御意見を賜ってまいりたいというふうに考えておりますので、本日もどうかいつものように真摯な御議論のほど、お願い申し上げまして、簡単ですけれども開会に当たっての御挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願い申し上げます。

○久保政策企画課長

それでは、お配りさせていただいておりますお手元の資料につきまして確認させていただきます。第2回淀川区区政会議次第と書かれた1枚もの。続きまして、裏面に全体会議進行表ということで、本日の予定につきまして列挙しております。続きまして、配布資料一覧の1枚もの。淀川区区政会議委員名簿、その裏面に座席表を置かせていただいております。その下にも各部会の委員名簿をつけております。続きまして、本日の資料ですけれども資料1ということで、2019年度運営方針中間振り返り（概要版）というホチキスどめしたものをつけております。資料2、令和元年度第1回淀川区民アンケート（18歳から29歳対象）集計結果をつけております。続きまして本日、時間との関係で、もしくはその後に持ち帰って書いていただく御意見表。続きまして、まちセン通信8月号が入っていますね。続きまして、黄色の紙で淀川区防災LINE始めました。続きまして、よどまち未来セッション、みんなで考える防災連携。この3種類のチラシをつけております。続きまして、よどマガ10月号と、意見表を送付いただく返信用封筒。それとリニア中央新幹線早期全線開通に対しての

啓発物品の袋等とともに、机の上に置かせていただいておりますかと存じます。これにつきましては後ほど、啓発の趣旨等含めまして説明させていただきます。御意見表に関しましては会議の最後に説明させていただきますが、会議終了後にお書きいただいて帰られる際に御提出いただくかもしくは返信用の封筒で後日、御送付いただきたいと思います。配布資料に何か不足のある方がおられましたら、事務局からお持ちさせていただきますので挙手をお願いできますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは続きまして、区政会議委員の皆様方を御紹介させていただきます。先ほどの名簿に戻っていただきまして、本日、改選後第1回目ということで、自己紹介も含めましてお願いしたいと思います。淀川区の区政会議につきましては、地域団体推薦の18名の方と公募選定委員4名の皆さんで構成されております。合計22名ということで、本日は2年に一度の委員の改選があったため、継続の方も含めまして、本会議より新しい委員構成での区政会議となっております。ただいま部会ごとの小グループでお座りいただいておりますが、本日お座りいただいているグループが新しい委員構成におけるそれぞれの所属する部会という位置づけにさせていただきます。お手元の資料の区政会議委員名簿と座席表が表裏になっているものをつけておりますので、本日、初めて顔を合わせられる方もおられるかと存じますので、名簿の順番どおりに簡単な自己紹介をお願いしたいと思います。地域団体御推薦の委員の方につきましては、地域名とお名前を、公募選定委員の方は、お名前を最初におっしゃっていただきまして、1分程度で自己紹介をお願いしたいと思います。では、名簿順番どおり、新東三国の増田委員からよろしくお願い致します。

○増田委員

皆さん、こんばんは。新東三国地域の団体選定委員の増田でございます。どうぞよろしく申し上げます。私たちの地域は比較的東のほうにあって新東三国って比較的マイナーで東淀川区だったんじゃないのってよく言われるんですけども淀川区です。有名な名物として蒲田神社というものがあまして、その中に千年クスという大きな

クスノキがあります。本当にパワースポットだと思うのはその近くにいると本当にパワーがもらえるようなすてきな場所なので、ぜひ皆様も新東三国に来ていただいたら蒲田神社に行って千年クスを見ていただきたいと思います。どうぞよろしくお願ひします。

○田中委員

こんばんは。東三国地域から来ました田中と申します。今の増田さんのようにぱっとした紹介できませんので、自分のことだけ言わせていただきたいと思います。1カ月ほど前に新潟に住んでおります娘が出産しまして、現在うちの家で親子ともども過ごしております。孫にぞっこんであります。今後ともまたよろしくお願ひします。

○和田委員

北中島地域の選定委員で和田と申します。病気で言葉がでにくいので聞きづらいと思いますが、よろしくお願ひします。ことしで70歳になりました。家は新大阪駅の回生病院の傍らのマンションです。昭和50年からそこに住んでいます。地域で昭和60年から北中島連合子ども会の会長をしています。また、小学校、中学校でもPTA役員を。今は毎日見守り隊員として小学校の子どもたちの登下校を見守っています。よろしくお願ひします。

○久保政策企画課長

宮原地域の山本委員につきましては、本日、体調不良によりまして欠席との報告を頂戴しております。

続きまして、西三国の新井委員につきましても所要につき欠席と報告を頂戴しておりますので、続いて三国地域、お願ひいたします。

○堀委員

皆さん、こんばんは。三国地域からまいりました堀いつみと申します。この会議、本当に初めてです。何もわからずに参加させていただいております。皆さんと一緒に初めからしっかりと勉強しながら2年間頑張っていきたいと思ひますので、御指導の

ほど、よろしくお願ひいたします。

○米田委員

こんばんは。新高のほうからまいりました米田美和と申します。今期初めての参加となります。地域のほうで民生の主任児童員をさせていただいておりますのと、子どもたちが帰る下校時見守りの委員長をさせていただいております。その方面からこの会議で御意見が言えたらと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

○福岡委員

西中島地域選出の選定委員の福岡と申します。よろしくお願ひいたします。今期で2期目でございます。前は安全・安心なまち部会で参加させていただいております。今期も頑張っていきたいと思っておりますけれども、西中島地域というのは淀川区の中でも象徴的なのもかもしれません、人の出入りが非常に激しいところでございます、特に若い女性の出入りが多いいところ、そういう中での地域活動ということで、淀川区役所が目標とされております、安心して子育てができる、そしてつながる町、それから安全・安心なまちづくりということで、皆様方と一緒に御議論できればというふうに思っておりますし、勉強していきたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思っております。

○川阪委員

木川からやってまいりました川阪と申します。仕事終わって朝早くからやっておりますが、3時半に起こされて中央市場のほうに行っておりますので、どちらかと言えば皆様と時間帯が逆になるんですけれども、夜の会議と言ったら困ったなと思っております。町会の役職としましては地活協の会長ということになっておりまして、何もわからないんですけれども、区政会議のこともわかりませんが地活協のこともわからず、今年初めてさせてもらいますということで、1年生ですが、よろしくお願ひしたいと思っております。区役所の方もたまには顔を出しますので、よろしくお願ひしますということで挨拶とさせていただきます。

○中井委員

皆さん、こんばんは。木川南地域の中井源太郎と申します。今回牧さんのかわりに指名されたんですけれども、私が今回コミュニティという形で参加させていただきましたのは、全国で防災、教育、いろんな形でかなり重要な項目なんですけれども防災、23年前にいろんな経験をさせていただいた中で、今の状況、社会的な情勢を見ますとコミュニティは我々の年代からしますと心配な状況にあるなど。全国を見てみますと、災害のときに本当の意味でのコミュニティが、下部組織がそういうのを助けているなどという実感をいたしましたので、今回、皆さんに教えていただきまして勉強させていただきたい。自分なりの考えを述べさせていただける機会があればいいなと思ってこれから研さんさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

○奥委員

こんばんは、十三地域から来ました奥と申します。よろしくお願いいたします。私自身、淀川区と申しますと、主任児童委員で淀川区の代表を9年ぐらいさせてもらっていて、大阪市に出て行っていろいろ見させてもらったりとか、男女共同参画審議会の公募委員もさせてもらって、市役所の中でいろいろ勉強させてもらったりした中で、本当にこういう場に入れば自分が一番勉強できるのでお得だと思っていて、意見しなさいということを勉強会で言われたんですけれども、意見するよりは自分の勉強になるなど非常に思っています。どうしても区役所の方、市役所の方、個人的な思いからするとサービス業になり過ぎているところがあって、一生懸命勉強されて、市民のためにと努力されているのであれば我々はもっと頭をたれてサポートする側に回らなあかんの違うかなと思っているところです。どちらかといえばそういう意味で子どものことが専門に近いんですけれども、自分もコミュニティを活性化させるというのでNPOを立ち上げたりしていてコミュニティでもいいなというふうには思っていますので、2年間、邪魔するかもしれませんが、一つ、よろしくお願いいたします。

○米山委員

こんばんは。野中地域選定委員の米山と申します。よろしくお願ひします。野中地域は非常に狭い地域で、端っこから、おーいって呼んだら反対側で聞こえるような感じに思えるような狭い地域ですが、行事を盛んにやっております。野中地区には野々宮神社という歴史のある神社があります。福社会館の隣ですのでお通りになられる方は大変親しまれていただいていると思います。私は民生委員を務めさせていただいております、特に気になるのは、最近高齢者がふえていまして、高齢者の見守りが非常に気になっているところです。特にこの夏は暑かったものですからその方々の介護ができたかと考えてみたいと思います。よろしくお願ひします。

○西澤委員

皆さん、こんばんは。神津地域の町会長をしております。私の近くでも神津小学校がございますし、博愛社という養護施設がございます。そちらにも接近しておりますとお世話になっております。今回、区政委員のお仕事を仰せつかりまして、どこまでできるかわからないんですけども。私はかつて教員をしておりましたので、教育・子育て部会のほうで経験を生かした話し合いができたらいいなとは思っています。よろしくお願ひします。

○英委員

こんばんは。新北野からまいりました英と申します。この間までは西尾さんという方がされていて、私がバトンを受けてさせていただくことになったんですけども、新北野地域と申しますと皆さんどのへんかおわかりにならないかと思うんですけども、北野高校がございます。その地域に住んでおります。私は新北野のほうで新北野連合子ども会の副会長をさせていただいて、西尾さんからお話があったときに、子どもたちに携わることが皆さんから教えていただけたらなと思ってまいりました。2年間、どうぞよろしくお願ひいたします。

○川合委員

こんばんは。塚本社会福祉協議会の相談役をしております川合昌壽と申します。

よろしくお願いします。あと3週間ほどで74歳になります。私の顔を見るとおじいちゃんかおばあちゃんかわからなくて困っているような顔をするんですけども、おじいちゃんですので、よろしくお願いします。それと、念願かなって教育・子育てを今期はやらせていただくことになりました。若いスタッフの方々、委員さんについて勉強していきたいと思っておりますので、一つ、よろしくお願いします。ありがとうございます。

○石田委員

選定委員の田川から来ました石田と申します。今期2期目になります。私は生まれも育ちも田川で、そういうことから女性の立場からということで区政会議の委員としてお役に立てればよいなと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

○中本委員

こんばんは。三津屋連合のほうから選定委員で選ばれました中本です。どうぞよろしくお願いいたします。私は2年前までは区とか市のほうに行かせていただいて、三津屋というのを余り知らなかったんです。今までがそういうところで頑張らせてもらって、2年前にこれはちょっとまずいということで、三津屋地域のほうに戻らせてもらいました。2年間ちょっと充電させていただいて、三津屋のいいところ、それから悪いところを、これからは選定委員にならせてもらいましたので、三津屋を中心に皆さんに発信させていただいて、皆さんの意見を聞かせていただき、区のほうに提案できるものはさせていただく。地域に持って帰るのは持って帰るという形にさせていただこうかなと思っております。これから楽しみながらやらせていただこうかなと思っておりますので、皆さん、よろしくお願いいたします。

○光在委員

加島地域選定委員、以前加島地域活動協議会から来ている意識が強いので、呼び名が変わって何かちょっと違うなと思っております。前回のときは安心・安全なまち部会でして、あっという間に過ぎました。今回2期目ということですのでけれども、いまだに

雰囲気にはなれていません。でも頑張っていきたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

○泉水委員

こんばんは。公募選定委員の泉水清治と申します。教育・子育て部会のほうに配属させていただきました。2期目でございます。3年目となりますけれども、地域のほうは三津屋でして、僕は17年ほど前に青少年指導員を拝命しまして、がっつりと子どもたちとかかわってきました。その経験を生かして小学校のPTAの会長もさせていただき、それが終わってからは地域のほうで役職をいただいて現在に至っているんですけども、小学校のほうではまだPTA終わって4年たつんですけども、まだまだ小学校とがっつりとかわって、子どもの教育、地域教育、学校教育、そういった点で子どもたちのよりよい教育ができるようにと思ってかかわっております。そういった知識、経験を区政会議のほうに生かして区民の子どもたちに反映できたらなと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

○永野委員

こんばんは。永野と申します。淀川区には40年近く住んでいるんですけども、10年前に定年退職するまで木川第一保育所と十三保育所で子どもたちがお世話になったぐらいしか地域と関係がなくて、それまでは往復するだけみたいな感じだったんです。数年たってから地域と少しおつき合いができて、子ども食堂とか、マンションの理事会とかという活動をしています。多分ここで死ぬやろうなと思うので、死ぬまで楽しく暮せる、私のために活動したいと思いますので、よろしく願いいたします。

○久保政策企画課長

中道委員につきましては、遅れてくるということで報告を頂戴しておりますので、紹介させていただきます。

続きまして、横山委員、お願いいたします。

○横山委員

公募選定委員の横山と申します。なぜか自己紹介、大とりですね。あいうえお順でしたら和田さん、米田さん、米山さんがいらっしゃるので、あいうえお順ではなさそうですけども最後ということで自己紹介させていただきます。私も2年前に区政会議に参加させていただいて、そのときは直接行政のほうに意見が言える場として有効だなどと思い、今回またぜひということで参加させていただくことになりました。3年前まで新聞販売店の経営をしていた経験を生かして、地域を走り回ってましたので、淀川区、住んでいるのは東三国なんですけれども、いろんな地域の吸い上げた意見をこの場で2年間お伝えできればいいなと思って参加してますので、どうぞよろしく願います。

○久保政策企画課長

ありがとうございました。22名中、ちょうど半分の11名の方が新任の方ということで、二期目の方も11名の方も含めまして2年間よろしく願います。

続きまして、淀川区選出の市議員の方に御出席いただいておりますので、当番幹事順に紹介させていただきます。坂井議員です。

○坂井議員

市議員の坂井と申します。本日は活発な御議論、よろしく願います。

○久保政策企画課長

寺戸議員です。

○寺戸議員

市議員の寺戸です。いつもお世話になっております。ありがとうございます。

○久保政策企画課長

市会の委員会開会中にもかかわらず御多忙中、御出席ありがとうございました。

区役所の職員の紹介につきましては時間の関係上、省略させていただいております。資料の座席表に職員名と役職をつけておりますので御参照ください。

本日の会議終了時間ですけれども、午後8時20分を目途に8時30分までには終わってまいりたいと考えております。御協力のほど、よろしくお願いします。また、発言、説明の際には、できるだけ簡潔にまとめていただき、スムーズな進行に御協力、よろしくお願いします。

それでは、次第3につきまして、議長及び副議長の選出に移らせていただきます。区政会議の運営の基本となる事項に関する条例第7条では、議長は区政会議を主宰する。副議長は議長を補佐し、議長が欠けたとき、または議長に事故があるときに区政会議を主宰することとなっております。またこの条例では、区政会議の委員は、その互選により議長及び副議長を選任することとなっておりますが、いかがいたしましょうか。議長と副議長をどなたにお願いしたらいいかということにつきまして、何か御意見ございますでしょうか。

御意見がないようですので、事務局のほうで腹案を用意してございますが、提案させていただきますのでよろしいでしょうか。

事務局といたしましては、議長には泉水委員、副議長には増田委員にお願いしたいと存じますが、いかがでしょうか。御承認は皆様の拍手で頂戴したところですので、この案で進めさせていただきたいと考えております。それでは御承認いただきましたので、議長に泉水委員、副議長に増田委員にお願いすることに決定致しました。以後の進行につきましては席を移っていただきまして、議長、副議長席によりしくお願いいたします。

それでは、泉水議長と増田副議長に一言ずつ御挨拶を頂戴したいと存じます。よろしくお願いします。

○泉水委員

泉水清治と申します。議長のほう、拝命いただきました。不慣れではございますので皆さんの御協力をいただきながらの会議となろうかと思っております。10月から消費税が導入されたり、幼児教育の無償化、それと昨年度ありました台風、地震、この前あ

りました千葉のほうでの災害、停電が長引いたという、そういったこともいろいろあった中でも多々、いろんな課題が出てくるかと思えます。そういったことに対しまして、皆さんの活発な御議論、御意見をいただきますよう、よろしく申し上げます。

○増田委員

副議長を拝命いたしました増田でございます。どうぞよろしくお願いいたします。大役なので本当にできるか不安ですけれども、皆様、どうぞよろしくお願いいたします。私は副議長なので泉水議長のことを支えて、サポートできたらいいなと思っていますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○久保政策企画課長

それでは、次第に従いまして、4、議題に移らせていただきます。

それでは、ここから泉水議長、進行、よろしくお願いいたします。

○泉水議長

座らせていただきます。

それでは、次第に則して3、議題を進めさせていただきます。初めに、議題1、2019年度淀川区運営方針中間振り返りについて、区役所から説明をお願いいたします。

○久保政策企画課長

それでは、資料1、淀川区運営方針中間振り返りについて説明に移らせていただきます。運営方針に記載した具体的取り組みにつきましては、4月から8月までの取り組み実績を踏まえ、年度の中間時点において自己点検、評価することとしております。年度の中間時点における振り返りは、運営方針に基づき取り組みを進めてきた中で見えてきた課題を整理し、今後の取り組みに生かすためのものであるとともに、この振り返り結果を踏まえて、次年度の運営方針策定や予算編成に反映していくものとなっております。これらの趣旨に基づきまして、これまでの区政会議全体会議及び部会で委員の皆様の御意見を伺いながら2019年度の淀川区運営方針の中間振り返りをこ

のたび行いましたので、中間振り返り時点でのプロセス指標の達成状況と、中間振り返りについて各担当から簡単に説明させていただきます。では、順番に具体的取り組み1-1-1、自助の取り組みから、担当から説明させていただきます。

○畑中市民協働課長

それでは、具体的取組1-1-1、自助の取り組みから説明させていただきます。市民協働課長の畑中と申します。よろしくお願いします。

まず、資料1-1-1、自助の取り組みといたしまして、当年度の主な取り組み内容としましては、継続的取組としまして、防災講座の開催40回を初めとして、4つの項目のほうを取り組むこととしております。その中で特に重点的取組として、若年層に訴求力の高い新規防災イベントの実施ということを挙げております。これは課題と改善策及び取り組み実績のところに記載させてもらっています、8月に実施した新規防災イベント、体感型防災アトラクションのアンケートがかなり好評でありまして、今後も同様の防災イベントについて、ぜひ参加したい、参加してもよいとの回答は95%を超えております。また、地域の防災訓練等に参加したことはなかったけれども、今後は参加してみたいと思ったとの回答が61.9%という数字が挙がっております。もう一つは、下半期にも小学生等を対象とした新規防災イベントを実施予定とあるんですけども、こちらにつきましては、11月に区民センターにおきましてNHKの防災サバイバルというものを実施する予定となっております。こちらについては、小学校を対象としておりまして、どちらかという区民センターに近い小学校、6校ぐらいですけども、希望ということで手を挙げていただきまして参加していただけることになっております。

続きまして、具体的取組1-1-2、共助の取り組みとしまして、継続的取り組み一つ目は、地域防災訓練の支援ということで、淀川区内18地域において防災訓練の支援を行う。もう一つは新大阪駅周辺の帰宅困難者対策という形があります。こちらについての重点的取組は、各地域の避難所開設時の課題を集約して全地域に共有す

るという形になっております。プロセス指標としましては、みずからの一時避難場所と災害時避難所を両方知っているか、知っている区民の割合を60%にするということになっておりまして、これにおける取り組み実績ですけれども、地域防災訓練の支援は全18地域で実施予定です。これにつきましては、幾つかの地域は終わっているんですけれども、主に10月から12月にかけて毎週土曜日、日曜日に各地域で防災訓練を実施いたします。一部の地域については年が明けて2月から、2月に集中しているんですけれども、そういう形で実施させていただきたいと考えております。2番目の新大阪駅周辺の帰宅困難者対策について、8月2日に第1回の協議会を開催しました。今後協議会はあと2回、実施訓練を1回実施する予定というふうに記載させてもらっています。こちらにつきましては実施訓練の日程も既に決まっております、11月26日火曜日に、場所については大阪市青少年センター、新大阪ワシントンホテルプラザにおいて訓練のほう、実施するという形に決まっております。詳細については未定ですけれども、そういう形に決まっております。それと避難所開設運営訓練につきましては、1地域実施済みということでもちまして、こちらの資料1では10地域の実施予定となっているんですけれども、その後1地域ふえまして、全部で11地域避難所開設訓練を行う形というふうになっております。

続きまして、次のページをめくっていただきまして、具体的取組1-1-3、公助の取り組みという形になります。継続的取り組みとしましては、淀川区災害対策本部員に対する研修を初めとして3項目ほど取り組む内容があります。その中で重点的取組としまして、SNSを活用した新たな災害時の情報発信手法を整備するという形になってまして、本日も皆様のほうにお届けさせていただいてます、こちらのピラのほう、LINEによる淀川区防災LINE始めましたとなっております。こちらについては8月1日より運用を開始しまして、現在の登録者数は8月末現在で650名となっているんですけれども、本日時点では1,900名以上という形で御登録いただいているところであります。プロセス指標としては、2019年3月末時点の淀川

区役所 T w i t t e r フォロワー数程度として 3, 8 0 0 人ということを挙げているんですけれども、これに半分ぐらいは御登録いただいているという状況になっておるところでございます。これも下半期に向けて防災関係の取り組みはもとより区民の皆様が集まるイベント等において登録を呼びかけてプロセス指標を達成していきたいと考えておるところでございます。

続きまして 4 つ目、これは防犯の関係になります、具体的取組 1 - 2 - 1、地域防犯の推進ということになります。継続的な取り組みとしましては、犯罪抑止のための青色防犯パトロール活動と三つほどの取り組みを行うことになっています。その中で重点的な取り組みとしましては、地域や企業と連携したひたくり防止、自転車盗難防止活動、警察・社会福祉協議会・区役所との三者協定に基づく特殊詐欺防止活動、子どもを犯罪や交通事故から守る取り組みを強化するといったことを重点的な取り組みとしております。プロセス指標につきましては、各種防犯活動の取り組みが区内の犯罪抑止に役立つと感じている区民の割合を 9 4 % 以上という形にしておるところでございます。取り組み実績としましては、各種防犯活動について取り決めを実施しておりますけれども、特に下半期は子どもを犯罪や交通事故から守る取り組みを強化する予定としております。子どもを犯罪や交通事故から守る取り組みとしましては、小学校や幼稚園、保育園等への防犯・交通安全出前講座の実施。これは 8 月末までに 2 5 件終わっております。8 月号区広報誌で子ども 1 1 0 番の家の募集記事も掲載させていただきました。それと子どもの交通事故防止講演、9 月実施予定となっておりますけれども、9 月 4 日に子どもの交通事故防止、応急処置後援会という形で講師をお迎えして、5 0 名の方に講演をお聞きいただきました。下半期も継続して各種防犯活動を実施するという形になっております。ここで淀川区における犯罪発生件数について報告させていただきますけれども、淀川区内での犯罪件数につきましては、前年度時に比べますと若干減っているという状況を警察のほうから聞いております。ただし、特殊詐欺の傾向としては前年度の同時期よりも増加傾向にあるというふうな形になり

まして、昨日10月1日にも1件、還付金詐欺の被害が発生しているというようなことで、警察のほうから情報が入ってきた次第です。以上です。

○ 鳶岡保健福祉課長

保健福祉課長の鳶岡でございます。続きまして、具体的取り組み1-3-1、地域における見守り支援体制の構築ということで、地域における要援護者見守りネットワーク強化事業を進めていく中で、関係機関や各地域と見守り相談室との連携を深めるなど、相談支援体制の充実を図っております。重点的取り組みといたしましては、淀川区地域福祉推進ビジョンの周知や見守り支援員へのスキルアップ研修、意見交換会などについて取り組んでおります。これまでの取り組み実績といたしましては、ビジョンの特集記事をよどマガ10月号に掲載したり、ビジョンの啓発のために冊子やチラシを作成中で配布予定でございます。また、見守り支援員と地域活動者に対しても活動報告会を開催いたしました。以上です。

○ 榊原教育支援担当課長

次に、具体的取り組み2-1-1に入っております。ここからは教育・子育てのほうになっております。教育支援担当課長の榊原でございます。よろしく申し上げます。それでは、2-1-1、課外学習の推進、ヨドジュク、小学生補修充実事業の項でございます。これにつきましては、両方とも放課後時間外に学習の習慣を定着するというので、中学校、小学校でそれぞれ取り組んでいるものでございます。中学校は事業者が入ってもらってやっております、小学校のほうは有償ボランティアにやっております。指標としましては、主にアンケートをとっていくということになっておりまして、年度末にとる予定でございますので、今の時点では出ていないというところでございます。ただ、小学生補修充実事業の参加児童の合計数、指標では360人以上となっておりますが、7月末現在で433人ということで、目標を超えていますので、今のところ事業としては順調かなというふうに考えております。

続きまして2-1-2でございます。淀川漢字名人育成計画。具体的に言いますと、漢字検定を受けていただいて、それをもって学習習慣の定着を図っていく。また、スモールステップに基づいて、子どもたちの自尊心の向上を図っていこうというふうなものでございます。校長先生からアイデアをいただきまして取り組んでいるところでございます。指標につきましては、受講者のアンケートをもって図っていこうと思っておりますので、今の時点では出ていないというところでございます。ただ、6月に宮原中と三国中で実施済みでございまして、両方とも昨年度の経験を生かしまして事前学習を取り込んだことで合格率が向上しているのです、これにつきましても今のところ進捗は順調かなというふうには思っております。合格率を高めるのが目的ではございませんけれども、現実見えているところでいいますと、そういった状況になっております。

続きまして、2-1-3、子どもの睡眠習慣改善支援ということで、ヨドネルということでございます。今まで申し上げました二つにつきましては学習習慣の向上、学力の向上というところでございます。大阪市につきましては、全国よりも学力テストの結果が余り芳しくないというところもありましたので学力向上を考えているところですが、ヨドネルにつきましては、それのもとになる生活習慣の改善を図るということで、夜にしっかり寝てもらおうという取り組みになっております。指標としては、区内の23小中学校、全校が取り組んでもらうということで指標としておりまして、現在、各学校の運営計画に取り組みの計画が記載されておりますので、取り組んでいただいているものということで、順調な進捗というふうに感じているところでございます。教育支援関係は以上でございます。

○大下保健福祉課福祉担当課長代理

いつもお世話になります。保健福祉課福祉担当課長代理の大下でございます。私からは具体的取り組み2-1-4、生活困窮家庭の子どもへの学習支援、子ども未来輝き事業の取り組みについて御説明いたします。この事業は子どもたち自身がおかれた

家庭環境などにより、社会への関心が薄かったり、自己肯定感が低い場合があり、そのような子どもたちの学習意欲を呼び起こし、学力の向上につなげる取り組みでございます。そのため単に学習指導を行うだけでなく、自己肯定感の向上につながる体験学習や、キャリア教育を事業の中で一体的に取り組み、学習意欲の向上につなげています。今年度は昨年度までの、事業に参加して楽しいと感じられる子どもの割合という指標による効果検証が一定完了したため、前回までの区政会議での御意見を踏まえ、効果検証する指標を、事業に参加してよかったと感じられる子どもの割合に変更いたします。また、今年度の重点的取り組みとしている体験学習におきましては、夏休みに屋外での環境学習を計画しておりましたが、計画の当日、猛暑による熱中症の恐れがあったため、開催を延期するとともに内容を再検討することとし、10月に取り組むことで進めております。なお、今後は天候の影響を受けないように計画し、体験学習に取り組みたいと考えております。私からは以上です。

○武田保健・子育て支援担当課長

保健・子育て支援担当課長、武田と申します。私のほうから、具体的取り組み2-2-1、子育てしやすい環境づくり、訪問型病児保育について、御説明させていただきます。この事業は子どもが病気のときに事業者が御自宅を訪問して保育するものでして、毎月会費をお支払いただきますと月1回は100%利用できる仕組みとなっております。今年度は実会員204名を目標に広報しておりますが、いつまでも増加するわけではございませんので、今後は訪問型病児保育のニーズ量を見きわめて、プロセス指標のあり方を検討していく必要があると考えております。

次に1枚おめくりいただきまして、具体的取り組み2-2-2、発達障害児等の子育て支援について御説明させていただきます。この事業はお子様の発達に不安を感じておられる保護者に対しますピアカウンセリングと、親子が楽しく粘土遊びなどを体験した後に親同士の交流を行う親子講座というものを行っております。こちらもより多くの方に御利用いただけますように、積極的に関係機関に働きかけつつ広報して

いるところをごさいますて、予定どおり進捗しております。

次に具体的取り組み 2-2-3、子育ての負担軽減について御説明します。子育て支援室では、子育て講座でありますとか、子育てマップ、子育て情報誌などを発行しておりますて、記載の予定どおり子育て支援に取り組んでいるところをごさいます。また、教育・子ども部会でいただきました御意見により、11月より、資料のほうは10月よりと記載しておりますが誤りですて、11月より全戸配布のよどマガに子育て情報のQRコードを掲載する予定となっております。貴重な御意見、ありがとうございました。また、前回、区政会議でも子育てにつきまして、お母様だけでなくお父様や三世代で参加できる事業がよいのではないかと、子育てサロンをもっと知っていただくべきではないか、あるいは子育てサロンに保健師がもっと訪問したらいいのではないかと、さまざまな御意見をいただきましたので、現在何か新たな取り組みができないか検討しているところをごさいます。説明は以上です。

○畑中市民協働課長

次に具体的取り組み 3-1-1、市民活動の理解促進です。計画的取り組みとしましては、広報誌「よどマガ!」や区役所HP、SNS等の広報媒体を活用して、地域活動への参加を呼びかけるとともに市民活動の理解促進を図るということを取り組みとしております。重点的な取り組みとしましては、中間支援組織、まちづくりセンター等と連携し、全地域が年1回以上、地域活動に関する情報発信を行えるように支援する。もう一つが、淀川区に転入される方々における配布冊子に地域活動情勢の充実を掲載するという形になっております。プロセス指標としましては、身近な地域とのつながりに関して肯定的に感じる区民の割合を48%に。地域活動協議会を知っている区民の割合を40%にするという形となっております。取り組み実績ですけれども、今のところ予定どおり進捗しておりますて、取り組み実績、情報発信につきましては65回、8月末でということになりますけれども、地域の情報発信につきましては、18地域中15地域において発信を行っていきたいと思います。それと、淀川区への

転入者向け配布冊子につきましては、この秋に改定する予定となっておりますので、その中に地域活動協議会の地域活動の充実と情報等を入れる形というふうになっております。

続きまして、取り組み内容 3-1-2、地域実情に応じたきめ細やかな支援としまして、継続的取り組みとしまして、地域公共人材について積極的な活用を促すために、地域活動協議会の会報で情報発信を行うという形になっております。重点的な取り組みとしましては、中間支援組織、まちづくりセンター等と連携して、地域ニーズの把握により、地域カルテを充実させるとともに、地域カルテを活用しながら地域課題に即した支援を行うという形、全 18 地域で行っていきたいと考えております。指標につきましては、中間支援組織の支援を受けた団体が支援に満足しているという回答の割合を 79%に、地域活動協議会の構成団体が自分の地域に即した支援を受けていることができていると感じた割合を 89%に、地域公共人材が活用された件数を 1 件というふうに挙げております。取り組み実績につきましても、予定どおり進捗しており、地域公共人材活用の促進の情報発信をする。これは 18 地域、地活協に対しまして、5月21日の意見交換会の場で発信させていただいております。それと 2 番目、地域カルテを活用した地域課題支援として、未実施となって冬ごろ 18 地域に実施しようとなっておりますけれども、こちらにつきましては、令和 2 年 3 月ごろに淀川区においてフォーラムを実施することで検討している段階になっております。それと地域公共人材活用件数 4 件となっております。加島地活協や野中地活協において社明運動等で後援会を実施したケースをもって 4 件という形で今のところとなっておりますのでございます。

続きまして、具体的取り組み 3-2-1、さまざまな活動団体の連携、協働です。継続的取り組みとしましては、中間支援組織と連携しまして、テーマ型団体同士の交流会を開催するという事で、交流会を年 2 回以上となっております。重点的な取り組みとしましては、中間支援組織と連携して、地域特性に応じた具体的なコーディネー

トを行う。これは20件。企業や専門学校に対して意識調査を実施し、地域との連携強化の方策を検討するという形になっております。指標としまして、新たに地域活動協議会とNPO及び企業等が連携した取り組みを行った件数を5件という形で挙げさせてもらっておりまして、実績としましては、予定どおり進捗しており、新たに連携した4件、こちらの取り組みは4件というふうになっておりまして、その中には加島地域における新大阪センイシティー衣料販売というような取り組みもあります。それと2番目、テーマ型団体同士の交流会、未実施となつて、10月と冬ごろにと書いておりますけれども、こちらにつきましても、本日つけさせてもらっておりますビラのほうに、青色のビラの関係で10月11日に交流会を開催することとなっております。3番目、具体的なコーディネートとして15件とあるんですけれども、先ほどの新たに連携した取り組み4件を含めて今のところ15件やっているという形になっております。最後に、企業等への意識調査、地域との連携強化として、7月にアンケートを実施ということで、8月末ぐらいまでアンケート締め切りをとりまして、現在集計中という形になっておるところでございます。以上です。

○久保政策企画課長

続きまして、具体的取り組み4-1-1、広聴機能の充実につきまして、簡単に説明させていただきます。取り組みについては大きく二つに分かれています。一つは区民の方々の意見ニーズを的確に把握するための区民アンケート。二つ目は市民の声、御意見箱への迅速な回答です。プロセス指標につきましては、細かい数字になっておりますが、市政改革プラン2.0区政編に定められた取り組みの一つということで、この3年間の計画に沿ったものでございます。ちなみに30年度の実績ですが、1のプロセス指標の割合が38.5%、30年度。2の割合が30年度71.3%でございました。それを上回った形でのプロセス指標としております。なお、アンケートにつきましては、本日会議の2番目の議題としまして、若年層を対象を限定した区民アンケートの結果について意見交換をしていただく予定でございます。前回の区政会議

でも若者に情報が届かない、どうしたらいいのかということで、こういった形のアンケートを実施させていただいております。市民の声の回答率につきましては、大阪市全体ルール、1週間以内に回答を淀川区ではさらに短縮することに務めておりまして、24区役所及び局を含めて53所属ある中で第2位の速さを維持しているところでございます。引き続き、意見、ニーズを的確に把握してまいりたいと考えております。続きまして4-1-2、区政会議の効果的な運営、まさに今お越しいただいております会議のことでございますが、よりこの会議が効果的に運営できるようにPDCAサイクルを回していく必要があると考えております。重点的取り組みとしまして改選前の委員を対象にしたアンケート実施と、今回改選後の委員の方を対象にした勉強会の開催の2点でございます。

本日まさにこの会議の前に約半数の方々に勉強会に参加していただいたところでございます。またアンケート結果、皆様の御意見をいただきながら効果的にPDCAサイクルを実施していく必要があるというふうに認識しております。

続きまして具体的取り組み4-2-1、区民が必要とする情報発信、広報関係でございます。公報につきましてはTwitter等のSNSや区民の方に読まれておりますよどマガに加えまして、紙媒体に限らず重点的な取り組みとして地活協なり区役所をつなぐツールとしてグループLINEを今後検討していく必要があると考えています。近くこういった形でまた地活協のほうに御提案をさせていただきたいと考えております。さらに広報紙につきましても増ページを考えておりまして、広告を掲載する等による紙面の増加、さらに市民区民参加型のコーナーを設置する等を工夫してまいりたいと考えております。以上でございます。

○西総務課長

総務課長の西でございます。最後のページで2つほど取り組みあります。そちらを簡単に私のほうから御説明申し上げます。

まず1つ目、4-3-1窓口サービスの向上ということでございますが、これは大

阪市において24区役所を対象に窓口サービスに係る民間事業者の覆面調査というのを実施しております。我々はミシュランというような呼び方もしております。ランクづけは星の数が0から3まであるんですけども、当淀川区は0ないし1が続いておったんですが平成29年度に念願の星2つを実現いたしました。ただ昨年度平成30年度、それがまた星1つに戻ってしまいましたので今年度令和元年は何とかまた星2つを獲得すべくいろいろ取り組みをしているところでございまして、区役所職員で構成します業務カイゼンチームというのがあるんですけども、そちらのほうで接遇向上に向けたさまざまな取り組みの検討を今、具体的に進めておるところでございます。また今月におきましては職員を対象とした接遇研修なども実施しましてふだんの接遇向上に努めてまいっておるところでございます。何とか今年度星2つの復活をめざしているところでございます。

続きまして4-4-1、プロセスの改善や集約化による効果的・効率的な業務運営ということで、とりわけコンプライアンスの向上ということに主眼を置いておりまして、不適切な事務処理を起こさせない職場をつくっていかうということでございます。昨年度、当淀川区役所では個人情報の漏えいであるとかあるいはさまざま事務の誤りなど、そういった不適切な事務が12件ほど発生いたしました。今年度の目標といたしまして昨年度の1割減の10件以下にそれを抑えようというふうに目標を置いております。それと職員のアンケート結果でPDCAサイクルを意識している職員の割合を89%以上をめざしているところでございます。ただ、その課題と改善策及び取り組み実績というところにありますように6月から約ひと月で連続して4件ほど不適切な事務が発生しております。今年度、半分過ぎたところでございますが、8件ほど発生している状況でございます、この目標の10件にちょっと迫ろうとしているところでございますので今年度後半何とかゼロで乗り切りたいと今研修等力を入れているところでございます。何とかコンプライアンスが守れる職場というのを確保してまいりたいと考えておるところでございます。

よろしくお願ひいたします。

○泉水議長

それでは委員の皆様、区役所の説明に対して何か御意見等ございませんでしょうか。

はい、増田委員。

○増田委員

増田です。

具体的取り組みの1-1-1とそれから1-1-2についてちょっと質問させていただきたいと思っています。

まず1-1-1は自助ということになっているので継続的取り組みの中は備蓄であるとかそういったものをおうちの中で備蓄してくださいねというような啓発なのじゃないかなと思うんですけども、この重点取り組みのほうの若年層の方への体感型防災アトラクションのアンケートの中でもきつとここの概要になっているので若い人たちも自助としてどういうものをしたいという意見があったらちょっと教えていただきたいと思います、それが1点です。

あともう1点は1-1-2の新大阪駅周辺の帰宅困難者対策というところなんですけれども、新大阪駅周辺の帰宅困難者対策というのは新大阪駅内でこう安全を確保するというようなゴールがあるのか、それとも周辺の地域も巻き込んだ対策になるのかというのをお聞かせいただきたいと思います。

○山崎市民協働課長代理

市民協働課長代理の山崎と申します。

まず1点目、1-1、自助の取り組みの点につきましては、体感型防災アトラクションでのアンケート結果もありますし、この後また若年層へのアンケートの説明がありますのでこちらのほうでちょっと詳しく御説明させていただいてまたテーブルごとで御議論いただいて御意見をいただければと考えております。どうぞよろしくお願ひします。

続きまして1-1-2、共助の取り組みについて新大阪駅周辺の帰宅困難者対策ということですが、こちらにつきましては増田委員御指摘のとおり、まず鉄道利用者の方とほかの企業さんに勤めておられる方、従業員の方々、あと一般的に歩いておられる方いろいろな方がいらっしゃるんですけども、まず交通利用者の方は交通事業者の方の責任で駅内に安全確保をしていただきまして、また企業の方にも多く参加いただいている協議会となっているんですけども、そちらも企業さんの自助努力でして従業員をむやみに帰宅させず会社内にとどまていただくように御協力いただくというような啓発活動を今行っているところです。また協議会のほうには、新大阪駅が特徴的なのはホテルが非常に多いので、そのホテルにお泊まりの方、御存じのように外国人の方も多くいらっしゃいますのでその方の対応をどうしていくかということも協議会で検討しているところとなっております。以上です。

○泉水議長

それではほかに御意見等、ございませんでしょうか。

それではすみません僕から1つ。

先ほど増田委員とかぶるんですけども、体感型防災アトラクションについてなんですけども私も参加させていただきまして大変意義のあるイベントだと思っております。そのアンケート結果で地域の防災訓練等に参加したことはなかったが今後は参加してみたいと思ったという回答が61.9%、かなり高い回答があったということなんですけども、この方が実際地域の今やっている防災訓練に参加したときにこの体感型アトラクションと全く違う形態なんで参加してみたら、いや、これは違ったということで次から参加しないんじゃないかという懸念もされますので、こういったことも踏まえて次の課題として来ていただける参加者をふやすということに関しまして、また地域の防災訓練でこういったイベント、このアトラクションを入れるには業者さんを頼んだらかなりの額にいくと思います、それはちょっと無理かと思いますので地域のほうでもこういったアトラクション的なものを考えていっていただけるような行

政の力添えもいただきたいなと思っております。

○山崎市民協働課長代理

御意見ありがとうございました。

今年度もまだまだ、先ほども御説明させていただきましたように10月、11月、また2月にいろいろ防災訓練が集中しておりますのでそのような提案を区役所からもさせていただけたらなと考えております。以上です。

○泉水議長

それではほかに御意見、ございませんでしょうか。

それでは議題2以降に移らせていただきます。

若年層向け淀川区民アンケート結果について区役所より説明をお願いいたします。

○久保政策企画課長

それでは資料2、淀川区民アンケートにつきまして、淀川区では若年層世代のニーズ調査のために淀川区にお住まいの18歳以上29歳以下の方から無作為抽出により選ばれた方に対しまして先月、8月下旬にアンケートを送らせていただきました。これは先ほども言いましたが以前の区政会議でも御意見いただいたことを実現させていただいたところでございます。日ごろ行政と接点が少ない若年層、特に単身世帯へのアプローチをどうしたらいいのかということで実施をさせていただいたものです。そのアンケート結果が今回集計できましたので皆様に報告させていただきますとともに、委員の皆様からこの結果を踏まえまして今後どうしていったらいいのかということで御意見を後ほど頂戴できればと考えています。

それではアンケート結果につきまして担当より説明させていただきます。

○藏本政策企画課担当係長

政策企画課、区政会議の担当係長をしております藏本と申します。よろしく申し上げます。

ちょっと区役所の説明が長かったんですけども、ここからもう余り文字が少ないグ

ラフと口頭の説明だけで、この内容をもとに各テーブルで意見交換をしていただきたいなと思っております。

アンケートの結果についてまず簡単に説明させていただきます。前に映しておりますが、お手元の資料でも同じものがございますので見やすいほうで御確認していただけたらと思います。

まずアンケートなんですけども18歳から29歳を対象に1800通送ってます。こちらは若年層へのアプローチという話で特に単身者世帯の意見を聞きたいという話もあって、単身者世帯が多い年代で絞った結果が18から29歳という対象となりまして、1800通送った結果、300通ほど返ってきました。ふだんやっている全年齢向けの区民アンケートはもうちょっと回収率が高いので、やはり若年層の行政に対する関心の低さというのはこの辺にもあらわれてきているのかなというところは感じました。ふだんは1500通しか送っていないんですけどそれで400とか500返ってくるんですが、1800送ってきてやっとなら300というところなので、ここについては来年度以降ちょっとまた工夫をしていきたいなと思っております。

では回答内容を説明させていただきます。

まず実施に当たって、これを実施するときにも区政会議で皆さんにこんなのを実施しますけど何かいい御意見ありませんかということで前回の全体会議で伺っております。新任の委員さんについては御存じないと思うんですけど、継続の委員さんは前回の会議を思い出していただければと思います。そのたくさんの御意見をいただいたんですけどその中でまず災害時にボランティアや避難所開設等の活動をしたいか聞いてみたらどうかという話が出ました。こちらについては設問そのまま入れさせていただいております、結果は我々が想像していたのと少し違う結果になったのでまた説明させていただきます。区役所からの情報発信で掲示板とかも追加したらどうか、恐らく若年層は回答率が低いだらうから貴重な意見をとか特別に選ばれたとか特別感を出したらどうかとか、アンケート在中と書いているだけで捨てられるんとかやうか

みたいな、そういうざっくりばらんな意見もいただいて反映しています。それでプレゼントをつけたらどうかという御意見が多かったんですけど予算の関係とか時間の関係で今回できなかったんですけども、来年度のアンケートに向けて時間をかけて何かできないかというのは今検討しているところです。それで回答の地域ごとなんですけども東三国がやたら多いんですけどもここはまあ母数少ないんで参考程度で、それで一緒に住んでいる人を教えてくださいというところで一番上の一緒に住んでいる人はいないという単身者世帯なんですけどもこちらが全体の3分の1ぐらいを占めました。次に一番多かったのが親と一緒に住んでいるというところで、29歳までなのでお子さんがいない配偶者やパートナーというところも70人ぐらいいたんですけども、お子様がいる世帯というのがちょっと思ったより少なかったです。それで設問にここから入りますが、まず過去3年間で地域活動に参加したことがありますかというところで区政会議でも若年層は地域活動に興味がないんじゃないかという御意見もあったんですけども、そのとおり約半数の方が興味ないまたは参加したくないという方だったんですけども残りのうちの、全体の3割ぐらいが参加したいんだけど参加したことがないという方がいらっしゃいました。意外と参加したいと思っている人もいるということでした。参加したことのあつた地域活動は盆踊りや夏祭りとか多いところで言うと、あとは成人式とか餅つき大会、たこ揚げ大会というイベント的なものが多かったです。それで興味がない、関心がないと言われた方とか参加したことがないとおっしゃった方は、その理由で一番多かったのは学業や仕事で忙しいと、あとそもそも地域でどんな活動をしているのか知らないと、この辺が多かったですので情報発信が適切にされていたら参加していたかもという方々が一定数いるのかなというのがここでわかります。参考ですが自由記述でどんな地域活動があつたら参加したいですかというのがありました。若年層ですのでスポーツとかお祭りとかイベント系だと参加したいというのがありまして、あとはばらばらと色々な意見があつたんですけどもこちらも参考程度に見ておいてもらえたらと思います。

次、町会の設問なんですけど、こちらも若年層の方なんで親御さんと一緒に住まれている方とかはちょっとわからないとか加入していないという方も約半数で、自分自身が加入しているという方も本当にごく一部で20人に1人ぐらいしかいませんでした。同居の御家族が加入しているとか、まあそういう結果になっています。町会に加入していない方が150人ぐらいいたんですけども、何でなんですかと聞いたら町会の存在を知りませんというのがその半分ぐらいを占めています、どうやって加入するかわからないとかそもそも負担なんでやりたくないとかいう意見が並んでいます。

次にここから子育てのアンケートになるんですけども、区政会議の中でワンオペ育児に対して何か対策が打てないかという話がありましてよくテーマにも上がっていたんですけども、せっかく20代に聞くのであればそういうワンオペで困っている人も一定数いるんじゃないかというところで設問を入れてました。ただ結果として子どもがいないというところが9割近くいて、返してくれた方で育児をしている方はあんまりいらっしやらなかったのも、本日は時間の関係で参考程度ということで飛ばさせていただきます。

問の13まで飛びまして、ここから防災のお話になるんですけど、まずあなたは日ごろから自宅でどのような防災対策をしておくことが重要だと思いますかというのが最初にありまして、こちら飲料水の備蓄が270となっています。これもおよそ全体の9割の方が飲料水の備蓄は要ると、食料も230ということで8割近く、だから備蓄に関しては非常に意識が高くて若年層についても昨今の災害、大規模災害が起こっている関係かと思いますが、防災に関して非常に意識が高いという状況が確認できています。次の設問、大規模災害が発生したときに救援物資が届くまで7日間程度かかると言われてはいますが、自宅で何日分の備蓄をしていますかというところで23名の方が7日分の備蓄をしていると。20代でなかなか、こんな方もいらっしやるんだという結果になりましたけども、全くしていないというのが5人に1人ぐらい、残りの方がしていらっしやって1日2日ぐらいを半数の方は備蓄があるという状況でし

た。また行政のほうで避難所として津波避難ビルとか一時避難所、広域避難所、災害避難所といういろんな避難所があるんですけどこれについての認知度は一時避難所がある程度、半数程度は御存じだったんですけども津波避難ビルとか広域避難所についてはまだ認知度が低かったという話で運営方針の中でもちょっと触れられていたところなんです。どの場所も知らないという方が3分の1ぐらいいますのでこの方々に対して適切にアプローチしていかないと区の災害対策として課題になっていくのかなという結果になっております。

冒頭で申し上げたとおり、区政会議のほうでこんな設問を入れたらどうということ御提案をいただいて入れた設問なんですけど災害時にボランティアの避難所開設等をしたいと思う方、したいが約半数という形で、地域活動は余りしたくないと言ってた割には災害時のボランティアとかをやりたいという人がいて、この辺も防災の話になれば結構積極的に参加してくるんだなというところが確認できております。こちら地域活動を参加したいですかという設問は、まちづくりのところの設問で聞いたんですけども、防災のところでは改めて共助の取り組みのために自分が住んでいる地域の方々とつながりをつくっていきたいと思いますかと聞くと、ここでは7割ぐらいの方が地域住民の方々とつながりをつくっていきたいということでさっきと若干矛盾している感じはするんですけども防災のことということが頭にあるとこういう結果になるみたいです。こちらは参考ですけども、大規模災害に備えて地域とまちづくり、世代を問わずにつながっていくためにはどんなことをしていったら有効だと思いますかということで、防災訓練とか若者向けのイベントとか、マンション単位とか若者単位で身近なつながりづくりとかそういう内容が並んでおります。最後に若年層が使っているツールの話なんですけども、行政の情報をどこでとっていますかというところで約半数が広報誌よどマガということになっています。そのほかはいろいろ出ているんですけども恐らくこの150名のよどマガを読まれている方以外は積極的にきつと取られていないんだろうなというところが予想されますので、もう少し関心を持ってもら

えるような情報発信をしていかないといけないかなというところですが、利用するツールなんですけどもLINEがほぼ全員、3分の2がTwitterを使っています。

Instagramも同じぐらい、Facebookはちょっと少なく4分の1程度なんですけど、区役所としては防災LINEをやっているんで、まだ2000いかないぐらいなんですけども若者はほぼ全員使っているこのLINEというツールをいかに有効に使っていくかとか、Twitterもフォロワー数24区で一番多いぐらいなんですけども、多分その若者たちが積極的に淀川区をフォローしているというような感じのボリューム感じゃないのかなというところなんでTwitterとかInstagram、Instagramはまだアカウントがないんですけどこういうのを活用していったほうがいいのかなというところですが。

ちょっと駆け足で説明させていただきましたが、これからテーブルで意見交換をしていただきたいなと思っているところなんですけども、地域活動に興味がないとか参加したくないとおっしゃっている方が半数ぐらいいらっしゃるんですけども、参加したいが参加したことがないというちょっとアプローチ不足なところが3割いたりとか、防災の話で言えばそのつながりをつくっていきたいという方が7割を超えているとか、ボランティアや避難所、災害時のボランティアや避難所開設の活動をしたいと思っている方も半数いたりとか、そういう潜在的なニーズが一定あるんじゃないかと思われるような結果なんですけど、こういうお手元のアンケートの結果とかを踏まえながら地域のコミュニティ力強化、防災力強化に向けて区役所や地域が若年層に対してどのようなアプローチをしていくことが効果的でしょうかということで御意見いただけたらと思います。

では一旦泉水議長に返します。

○泉水議長

それではこれより先ほど事務局より提示されたテーマについて部会ごとの小グループで意見を交換し、最後に各グループの意見を共有することとなっております。区役

所の職員も各グループに加わっていただき意見交換、情報交換を20分程度お願いしたいと思います。20分ほどしましたら、意見交換で出された主な意見の紹介をお願いしたいと思います。グループで意見をまとめていただく必要はありませんのでどんな発言があったかを紹介いただきたいと思います。発表者はどなたでも構いませんのでグループ内で決めていただきたいと思います。

では区役所の職員の皆さん、グループに加わり意見交換を始めていただきますようよろしくお願いいたします。

(部会ごとの意見交換)

○泉水議長

それでは時間になりましたので各グループの御意見を共有したいと思います。よろしくお願いいたします。

では教育子育て部会の内容をお願いいたします。

○川合委員

若年層に対してのアプローチということで、町会の防災では関心度が違ったということですね、アンケートを見ていましたら本当に意外にも協力するという人はたくさんいたので淀川区としてもうれしいなという状況になっています。ぜひそういうのを引っ張り出したいというような意見なんですけど、いざとなれば参加するということ、これですね。これはもう一番あり得ないことでその18歳とか29歳までの方がこういう意見を持っていただいていることとか、本当にうれしいことだと思います。それから親が参加している若者は比較的に参加するということで、皆さん体験している役員さんの方がたくさんいらっしゃる、役員さんの子どもさん出てきなさいよということで出てくると周りもそれなら出ないかなのかなというようなことで参加していただけるパターンがあるということでぜひそういうのもやっぴいこうかなということ

です。それから各種団体の活動内容を若者は知らないということで今ちょっと意見が出てたんですけど、何か地域ごとに活動を紹介する冊子、塚本なら塚本、三国なら三国で、ここの地域に来たら子育てはこういうところへ行きなさい、民生さんの子育て活動はありますよとか、高齢者食事サービスがありますよとか、そういう地域の新聞も出てるかと思えますけど、引っ越してこられた方にそういうことを伝える冊子を作るのも絶対いいことですよ。地域のことをぜひ地域ごとにこれを作ってあげたらそれこそ早道だと思います。これはいい意見だったのでぜひやっていただきたいなと思って聞いていました。

ボランティアの情報発信、学校が多い地域の発信情報は伝わっていない、確かに地活協が何、社協が何、連町が何とか、その区別がわかっていない、役員さんの中でもわかっていない方がたくさんいらっしゃると思うんですよ、だからまず役員さんも僕らを覚えていただくはあれなんですけど、あわせてここね、頑張っ、て、こういう全部区役所さんから全てでやっていかないといけないことだと思っています。

それからイベント主催者側に入るためにはイベントなどの団体が行っているかを知ってもらいたいという、これもさっきのと重なりますね。そういうことで、居酒屋さんなどで若い人が集まりますよね、そういうこといろいろ飲んではボランティアでやってんねんで、いろいろ協力してやということスカウトされているという意見がありました。飲みにケーションでやっていく、町会は入れへんけどそのボランティアは楽しかったです、行きますよ、やりますよと言ってくれる方が現に出てきていて、お手伝いをしていただいているという意見が出ていますので、そういう方法でぜひ新規に協力していただける方を発掘していただくということで、居酒屋作戦ですね。これは私のところの町会だったんですけど子ども夜警というのを毎年大人の夜警の3日前の前日に、子どもさんを集めて子どもがマッチ一本火事のもとしていうふうに、昭和27、28年からやっていたことを途切れていたんですけど、この10年前ぐらいに復活して毎年子ども夜警というのをやっています、というのは子どもさんが来るとい

うことは親御さんが来る、親御さんが来れば役員さんに入ってくださいよということで、うちの塚本の町会の、私のところの町会は若い役員さんがすごい多いんです、全部引っ張り込んでいるんで。ぜひこれもいいことだと思いますので町会長さんたちいらっしゃったら、そういうものもやっていただいて町会を盛り立てて若返りを図っていただきたいという、これが一番のねらい目だと思います。それはコミュニケーションできる、何もかもできますからね、はい、ということで、先に言ってしまいましたけど引っ越しの情報、イベント等の冊子をつくるということでした、よろしく。

○泉水議長

はい、ありがとうございました。

続きまして安全・安心なまち部会の内容をお願いいたします。

○増田委員

安全・安心なまち部会の内容です。

私たちはこの皆さんに伺いたいことというところの間3の前の間1のところでも少し話し合いました。かなり回答率に差があるねというようなお話があったんですけども、なかなか回答率が高い地域は比較的行事に若い人も参加しているよというようなお話がありました。ただこちらの回答が住所になっているので東三国であったり、東三国というのは北中島、それから東三国、それから新東三国と分かれていたり、三津屋さんなんかは北、中、南というふうに分かれていたりしているので、ちょっと地域の特色ということではないというお話が最初にありました。

その次の「地域活動に興味がない」「参加したくない」がある一方、「参加したいが参加したことがない」というところの理由として「忙しい」ということと「どういう行事をしているのかわからない」、でも要はちょっと興味がないよねというようなところであればじゃあ興味のある行事にしたら来てくれるんじゃないかということで若い人たちに企画段階で任せてしまう、参画してもらおう、参加ではなくて参画してもらおうというようなことをして、それで行事はいつも大人だけでやっているのではなく

てお子さんからお年寄りまでが仲よく参加しているようなことを頻繁に見せていくというようなことができるんじゃないかというような話がありました。ただ忙しくて参加ができないというような方に関してはどうすることもできないので、ではLINEを使ってみようか、例えばLINEのスタンプを地域の中でつくります、そのスタンプの発案をしてください、その例えば収益とかをコミュニティビジネスとかソーシャルビジネスとかに変えていきましょうみたいな形を提案していく、もう大人がついていくというような形にしてもおもしろいのかなというような意見が出ました。

そういったことで、でも防災に関しては参画していきたいというような方がたくさんいらっしゃるという間の16と17に関してなんですけれども、そうはいっても忙しいのでじゃあLINEで防災リーダーみたいな形で登録だけしてもらって、いつもは情報でつながっていて、つながることはとても大事と言っているので、常にLINEでつながっていていざというときはみんなが助けに来てくれる、そんなまちづくりをしていくのがいいのではないかというような話もありました。先ほどの説明にあったような、防災アトラクションのような魅力的な防災訓練をするのはちょっとお金もかかるし大変だなというような話をしていたときに、じゃあ皆さんがよく集まっている夏祭りであるとかそういったもののときに防災のものを入れていくというようなことをしていったら、何も防災訓練だけで防災をしていくというのじゃないものを考えてもいいんじゃないかというふうにみんなで話し合いました。みんなが、じゃあ若い人がどんなものだったらというのにフリマであるとかフェスだったら出るというのであれば、防災フリマであるとか防災フェスティバルというような形に名前を変えて、何かちょっと行ってみたいなと思うようなものをこう入れていく、それをまたLINEで発信していくというようなことをすると若い人と地域のコミュニティ力が強化していくんじゃないかというような話し合いがありました。以上です。

○泉水議長

ありがとうございました。

続きまして、最後にコミュニティ力向上部会の内容をお願いいたします。

○中井委員

それではうまくまとまっているかどうかわかりませんがコミュニティづくりのほうから御報告させていただきます。

まず先ほど報告がございましたけども、若年層の方で少なくともアンケートをとりますと隠れ協力者といいますかやはり何人かの方はそういうことを情報発信すれば協力させていただけるという方がおられるというのはやはり大事なことなんじゃないかなという意見が出ております。ただ各地域によりまして十三なんかのことも説明されておったんですけども、十三地域の方はLINEか私ちょっとわからないんですけどやはりそういう発信をするとそういうところでぱっと興味を持って参加してくる方もおられるということでございました。ただ地域的に西中島さんのほうからも御意見があったんですけども昼間はほとんどマンション関係、企業とかマンション関係で夜については住んでおられる方がほとんどおられないというようなこともございまして、やはり若年層の方に興味を持っていただくというのはかなり難しい状況であると。ただその中でよどマガとか、いろんな資料で情報発信をしていくと、先ほどちょっとお金をかけてでもそういう形で少しずつ若年層の方の協力をいただくということが大事なのではないかなという方の意見がございました。それと私どもの地域でも学校の中で防災訓練をやるときにPTAあるいは子どもさんと一緒に年配者も含めて防災訓練をやって、ある若い親御さんも一緒になって子どもさんとおじいちゃんおばあちゃんと一緒になって防災訓練をする、それが少しずつ若年層の掘り起こしにつながるんじゃないかなということでございました。ですけどその中でワンルームマンションとかそういう形が多い中で町会員を集めるのもままならないという現状がございまして。その中で一人一人きめ細かく顔を見てそういう訓練に参加していただくという地道な努力があれば、1人でも2人でもそれが4人になり、10人になりという形で現実の災害があったときにコミュニケーションづくりと一緒に地域の手助けになるんじゃないかな

いかというようなことの見解がございました。

うまく集約できませんでしたが、そういうことでコミュニケーションづくりというような防災の事前事後、この対応がいかに大事なのかなということを痛感いたしました。これからまたいろいろ勉強させていただいて後日またいろんな方に発表していただきたいと思います。どうもありがとうございました。

○泉水議長

はい、ありがとうございました。

以上三部会からの報告について、部会のほかの委員の方の補足等ございませんでしょうか。

ないようですので時間もまいりましたので以上で意見交換会は終了となります。

また議題に関して、全体を通して、何か御意見等ある方、いらっしゃいますでしょうか。

○奥委員

いいですか。

そもそもなんですが都構想ですかね、淀川区の合併の話というのはその辺の情報というのをちょっとまたいただければなど。要は将来のビジョンですとかどうなるのというところではやはりこのフィールドが淀川区のみならず北、北部というふうな視野であれば、当然そこもまた変わってくるのかな。また構成区長によって予算のつくり方というのも将来的に変わってくるのかな、そうであればやはり今話している土俵は もちろん、継続するのはもちろんなんでしょうけれどもやはり将来そうなるんだったらという話もやはり頭に置いといたほうがいいのかなどは思いますので、そこがどういふふうな流れで複眼で見れるのかなということを情報としていただけたらありがたいかなと思っております。以上です。

○山本淀川区長

ただいま奥委員からの御意見でございますけれども、今よどマガというのは大阪市

の全体版も入ってるんですけどもその中で大都市制度についてもあるんですけども申しわけございません、今の段階でまだ住民投票のほうで方向性が出ていない中で区独自でそういう方向性、複眼を持ってということを出すことは、今の段階ではちょっと難しいかなと思っているんですけど、これからいろいろ議論を進めていくにつれてそういうところも出てくるかもわかりませんが、今は全体的な状況を見合わせていただきたいということでちょっと回答になっておりませんがその辺を御理解よろしくお願い申し上げます。

○奥委員

選挙しないといけませんね。

○泉水議長

ありがとうございました。

ほかに御意見等ございませんでしょうか。

それでは時間もまいりましたのでここで進行を事務局にお返ししたいと思います。

よろしく申し上げます。

○久保政策企画課長

泉水議長、どうも議事進行ありがとうございました。

委員の皆様活発な御意見、どうもありがとうございました。

エコバッグのところにリニア新幹線の啓発グッズ入れさせていただきます、持ち帰りいただきまして御利用いただければ幸いです。

本日の議事は以上でございます。市会議員の皆様は最後までお忙しいところ御出席いただきましてまことにありがとうございました。

次回の区政会議につきましては、この三部会につきまして1月の中旬から下旬ごろを予定しております。また日程調整をさせていただきたいと思っておりますのでお忙しいところ恐れ入りますがよろしくお願いいたします。

それと冒頭、自己紹介のときに中道委員、ちょっと自己紹介をお願いいたします。

○中道委員

2期目になります、もう2年間、一応経験させてもらったんですけど中道と申します。また2年間、よろしくお願いいたします。

○久保政策企画課長

このメンバーでまた2年間、よろしくお願いいたしますと思います。

それでは本日は時間の関係で発言等できなかった、質問したかったということがありましたら御意見用にお書きいただきまして、出口のところでお出しいただくか、もしくは返信用の封筒でまた御返送をよろしくお願いいたしますと思います。

では時間もまいってきていますので、これをもちまして第2回淀川区政会議全体会議を終了したいと思います。本日はどうも長時間にわたりましてありがとうございました。済みません、それで最後ちょっとだけ、あと少しだけ済みません、すぐ終わります。今ですね、皆さんお手元に紹介名簿作成のお願いというのが今配られています。継続の委員さんは御存じだと思うんですが皆さんの経歴とか簡単にまとめた、関係者限りで共有するようにつくりますので、ちょっとまたお持ち帰りいただいて御記入いただいて、返信用封筒でお返しいただけたらと思いますので御協力をお願いします。既存の委員さんについては3枚目にもともとの、前回使っていた名簿が入っていますのでそちらを訂正していただくだけでも結構です。よろしくお願いいたします。

—了—